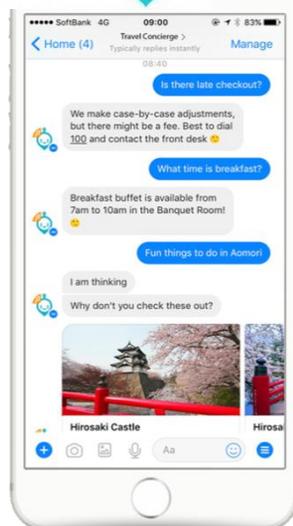


2018年6月1日

株式会社ビースポークと業務提携開始 ～訪日外国人向けAIチャットコンシェルジュ「Bebot」の自治体向けサービス 提供によるインバウンド受入環境の向上と地方誘客を推進～

株式会社ジェイアール東日本企画（代表取締役社長 原口 幸、以下、ジェイアール東日本企画）と株式会社ビースポーク（代表：綱川 明美、以下ビースポーク）は、多言語によるサービス提供や観光案内など、訪日外国人受入環境整備の課題解決を目的に、訪日外国人向けAIチャットコンシェルジュ「Bebot」のオリジナルパッケージのサービス提供に関する業務提携を、本日6月1日（金）より開始したことをお知らせいたします。「Bebot」オリジナルパッケージは当社限定のソリューションサービスであり、当社はこれを切り口にJR東日本エリアの観光地や宿泊施設等への「Bebot」導入による訪日外国人受入環境整備の支援を強力に推進していきます。

BEBOT

※上記画像はイメージです。

■業務提携に至った経緯

訪日外国人が急増する中、多言語での観光案内などの受入環境整備について、特に地方における対応の遅れがインバウンド促進の大きな課題となっています。ジェイアール東日本企画ではこれらの動向を受け、ビースポークと業務提携することで、東日本エリアおよび全国における地方自治体、DMOなどの様々な観光関係事業者等のインバウンド受入環境整備を支援し、外国人観光客受入における課題の解消、サービスの向上によるリピート来訪や新規来訪促進、および訪日外国人の「Bebot」利用データを将来的にDMP（Data Management Platform）へ蓄積し、デジタルマーケティングを推進するため、この度の業務提携にいたったものです。

■「Bebot」とは

「Bebot（ビーボット）」は、訪日外国人向けのスマートフォン用「AI（人工知能）コンシェルジュ」です。宿泊施設や商業施設のスタッフに代わり、AI（人工知能）を使い、英語や中国語で24時間365日各種問い合わせに対応します。利用者は、自身のスマートフォンのブラウザ画面を通じて「Bebot」を利用することができ、導入施設は、現場の負担を軽減するだけでなく、「Bebot」チャット内で利用者に口コミ投稿を依頼することもでき、施設利用者の満足度を飛躍的に向上させます。「Bebot」の導入にかかる期間は数週間程度、施設ごとにカスタマイズが可能です。現在、国内外の宿泊施設、空港、駅へ導入されており、東京ステーションシティ運営協議会では、訪日観光の起点となる東京駅および周辺エリアにおいて本年3月21日より「Bebot（ビーボット）」のサービス提供を開始したところです。

■「Bebot」導入によるメリット

- 単純な問い合わせ対応自動化による、窓口業務の軽減
- 言語が通じないことで発生するご意見の激減
- 施設単位のカスタマイズにより、利用客の細かいニーズへの対応
- チャットで旅行者自身が飲食店予約を行うことによる無断キャンセルの回避
- チャットによる手厚いサポートにより、利用者の満足度向上 & 口コミ投稿率上昇

<参考動画> <https://youtu.be/E7Jdj7ZhjDs>

■これまでの「Bebot」導入実績

東京ステーションシティ運営協議会、成田国際空港、ホテルニューオータニ、ソフィテルホテル、ホリデイ・イン、グランベルホテル、アラムダ青山、蔦温泉 ほか多数

【会社概要】

- ・商 号：株式会社ジェイアール東日本企画
- ・代 表 者：代表取締役社長 原口 幸（つかさ）
- ・所 在 地：東京都渋谷区
- ・設 立：1988年5月
- ・資 本 金：2億5,000万
- ・事業内容：総合広告・交通広告・出版など
- ・U R L：<http://www.jeki.co.jp/>

【会社概要】

- ・商 号：株式会社ピースポーク
- ・代 表 者：代表取締役 綱川 明美
- ・所 在 地：東京都渋谷区
- ・設 立：2015年10月
- ・資 本 金：1億7,000万（資本準備金含む）
- ・事業内容：インバウンド向けAIソリューション
- ・U R L：<http://www.bebot.io/hotels>